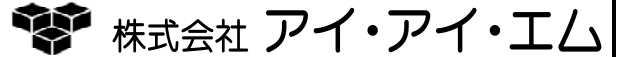


# PRESS RELEASE



## コンピュータのパフォーマンス管理ソフトウェア「ES/1 NEO」が、サーバ仮想化製品 Hyper-V に対応

VMware に加えて Hyper-V にも対応することで、仮想化環境の性能管理を強化

コンピュータのパフォーマンス管理ソフトウェアの開発、販売を行う、株式会社 アイ・アイ・エム（本社：東京、河野知行社長、資本金：8千万円、略称 IIM）は、日本マイクロソフト社製サーバ仮想化製品 Hyper-V のパフォーマンス管理を行うソフトウェア「ES/1 NEO CS-Hyper-V」の発売を8月より開始します。

仮想化環境におけるパフォーマンス管理の取り組みとしては、2007年2月に ES/1 NEO CS シリーズのオプション製品として「ES/1 NEO CS-VMware」を開発・販売いたしました。VMware はサーバ仮想化製品の中でもトップシェアを誇っており、「ES/1 NEO CS-VMware」も多くのお客様にご利用いただいております。しかし、市場環境の多様化に伴い Hyper-V の導入実績も増加し続けて、Hyper-V を効率よく利用するための性能管理のニーズも高まってきました。

そこで、このたび Hyper-V の性能管理を行う専用ソフトウェア「ES/1 NEO CS-Hyper-V」の開発を行いました。8月に出荷される ES/1 NEO CS シリーズの最新バージョン V05L08 のオプション製品として発売を開始いたします。

「ES/1 NEO CS-Hyper-V」は、VMware にて培った IIM の仮想化環境における性能管理コンサルティングの経験とノウハウを活かして、Hyper-V での性能管理を効率よく行い、性能を最大限引き出すための評価や分析が行えるよう設計されています。「ES/1 NEO CS-Hyper-V」をご利用いただくことで、下記3点を実現いただくことができます。

### 1) Hyper-V システム全体の性能分析を行い、問題点を日本語で指摘します

- 評価ロジックがプログラム化されているため、高品質な分析ができます
- 問題点に対する解説や対応策も表示するため、技術的に詳しくない方でも対処することができます

### 2) Hyper-V の統計情報管理を継続的かつ中長期的に行えます

- 標準管理プロトコルを使用したリモート収集のため、低負荷かつ安全にデータを取得できます
- 取得した統計情報を任意にサマリー化することで中長期の傾向レポートを出力できます
- Hyper-V の構成情報を取り扱うことで、Hyper-V 全体の稼働状況を容易に把握できます
- システム統合やシステム更改などの参考資料として利用することができます

### 3) Hyper-V+ゲスト OS の総合管理も行えます

- Hyper-V 上で稼働している各種ゲスト OS については、ES/1 NEO CS シリーズの別オプションをご利用いただくことにより、Hyper-V と同様に性能分析および稼働統計管理を行うことができます

「ES/1 NEO CS-Hyper-V」の価格は年額 6,000 円からとなっており、今後2年間で100社への導入を目標に販売活動を展開してまいります。

#### 【ES/1 NEO CS シリーズについて】

ES/1 NEO CS シリーズは、オープンシステムのパフォーマンス管理を行うために、IIM が開発した専用パッケージソフトウェアです。国内の主要な OS を搭載した各種 IA サーバに対応しており、金融、生保、通

信、製造などあらゆる業界の大企業を中心に 20,000 台以上のサーバで使用実績があります。

ES/1 NEO CS シリーズの最大の特長は、オープンシステムの稼働状況をバッチプログラムで自動分析を行い、その結果を日本語で表示するという点です。さらにそれぞれの性能問題について、これまでのコンピュータのコンサルティング経験に基づいた対処方法も合わせて提示します。それ以外にも、パフォーマンス管理を行うための性能情報の蓄積・管理や、各種レポートの作成機能、Web による情報閲覧機能など、パフォーマンス管理を総合的に行うことができるパッケージソフトとなっております。

### 【IIM について】

IIM は 1988 年の設立以来 20 余年に亘り、コンピュータのパフォーマンス管理に特化した専門会社として、メインフレームから Unix, Linux, Windows の各種 IA サーバまで、幅広いコンピュータシステムの性能を評価するソフトウェア「ES/1 NEO シリーズ」の開発、販売を行っています。

「ES/1 NEO シリーズ」は、パフォーマンス管理ソフトウェアとしては数少ない国産製品であり、1989 年 7 月の発売開始以来、大手企業を中心に 800 サイト、2500 台以上のメインフレームおよび 20,000 台以上のオープンシステムで利用されています。

このプレス・リリースに関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

株式会社 アイ・アイ・エム  
企画部 営業企画課 萩原 俊夫  
佐久間 京子

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-27-20  
TEL: 03-5684-6771